

第2次上越市総合公共交通計画の概要

1 計画策定の経過（平成30年3月～令和2年3月）

- (1) 現状調査の実施（調査者数延べ15,081人）
 - ① 公共交通に関するアンケート（H30年3月実施。対象：市内在住の16歳以上6,228人。回収数：2,745）
 - ・市民の87.8%が公共交通を「重要」と認識。
 - ・70歳以上の高齢者の外出手段は、自家用車が81.9%、公共交通（鉄道、バス、タクシー）が10.9%。
 - ・免許のない人の外出手段は、家族等による送迎と公共交通がほぼ半々。
 - ・便数、ダイヤ、乗換負担、ルート、運賃等の満足度が低い一方、バス停までの距離は満足度が高い。
 - ② 路線バス乗降調査（H30年6月～7月実施。対象：近年調査を行っていない43路線。乗降者数：5,932人）
 - ・バスの利用者は、学生（小中高大）が41.4%で最多、次いで一般が27.6%、高齢者は26.4%。
 - ③ 高校生アンケート（H30年12月実施。対象：上越・妙高市内の高校に通学する1・2年生。回収数：3,557）
 - ・公共交通により通学する生徒（冬期）は、鉄道は1,732人（48.7%）、バスは379人（10.7%）。
 - ④ 聞き取り調査（町内会長、民生委員、すこやかサロン参加者、地域住民（戸別訪問）、免許返納者や各種団体等から移動実態等について聞き取り。延べ2,847人）
 - ・運転免許を持たない人は、家族や近所の人による送迎により買い物や通院の用を足しているため、バスを利用しないという意見が多かった。一方、バス停までの距離、ダイヤ、ルート等の意見・要望が寄せられた。
- (2) 地域公共交通活性化協議会において計画策定について審議（H30年6月～R2年3月に計9回開催）
- (3) 13区の地区公共交通懇話会において各区のバス路線の再編案等を審議（H30年度・R1年度に計42回実施）
- (4) 地域への説明等
 - ① 13区と金谷区の地域協議会への報告（H30年度・R1年度に計33回実施）
 - ② 住民・利用者等の意見聴取（町内会長（延べ343人）や住民懇談会（延べ950人）、学校等に説明・意見交換。また、路線バスの乗降調査や戸別訪問等により利用者から意見聞き取り）
- (5) 市議会への説明（H30年7月～R1年12月に計5回、交通政策調査対策特別委員会へ説明）
- (6) パブリックコメント（R2年1月～2月実施）

2 計画の背景と目的

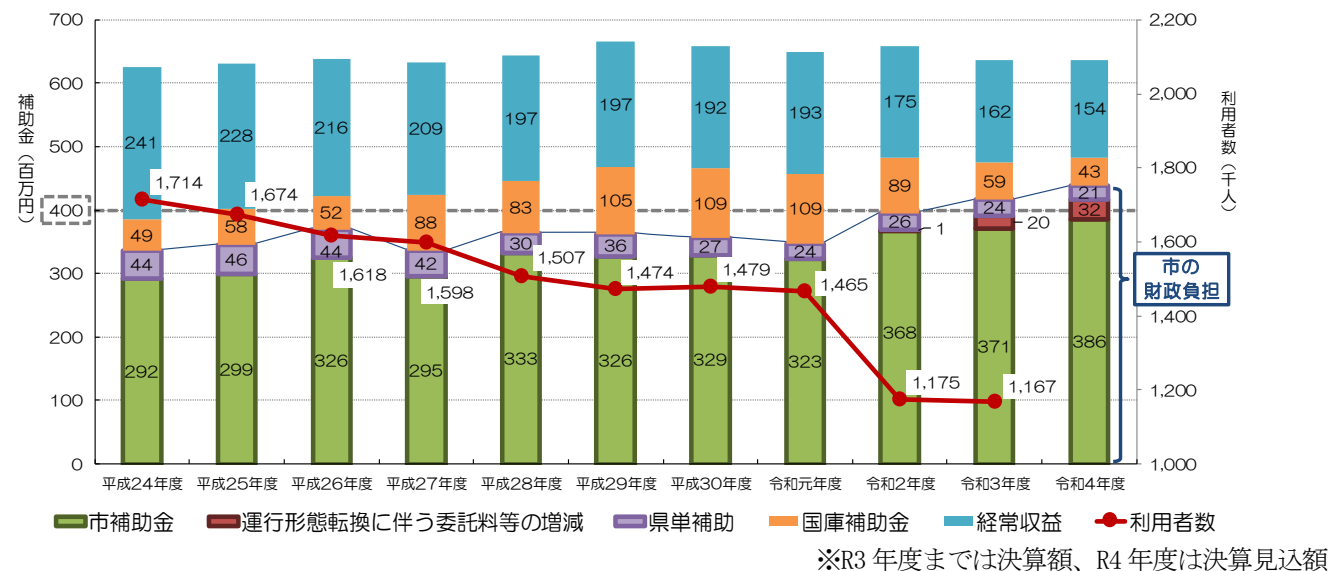
高齢化の進行や運転免許証の自主返納者の増加に伴い、これまで以上にきめ細やかで利便性の高い移動手段としての役割が公共交通に求められている。

一方、自家用車中心の生活様式や少子化の進行などの要因から、バス利用者数は減少傾向にあり、今後、市の財政負担が更に大きく増加し、公共交通ネットワークの維持そのものに大きな影響を及ぼすことが懸念される。

このような状況の下、市民が利用しやすく、かつ、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、地域公共交通活性化再生法に基づいて令和2年3月に計画を策定した。

計画の期間は、令和2年度から令和9年度までの8年間としている。

<路線バスの利用状況と市の財政負担>

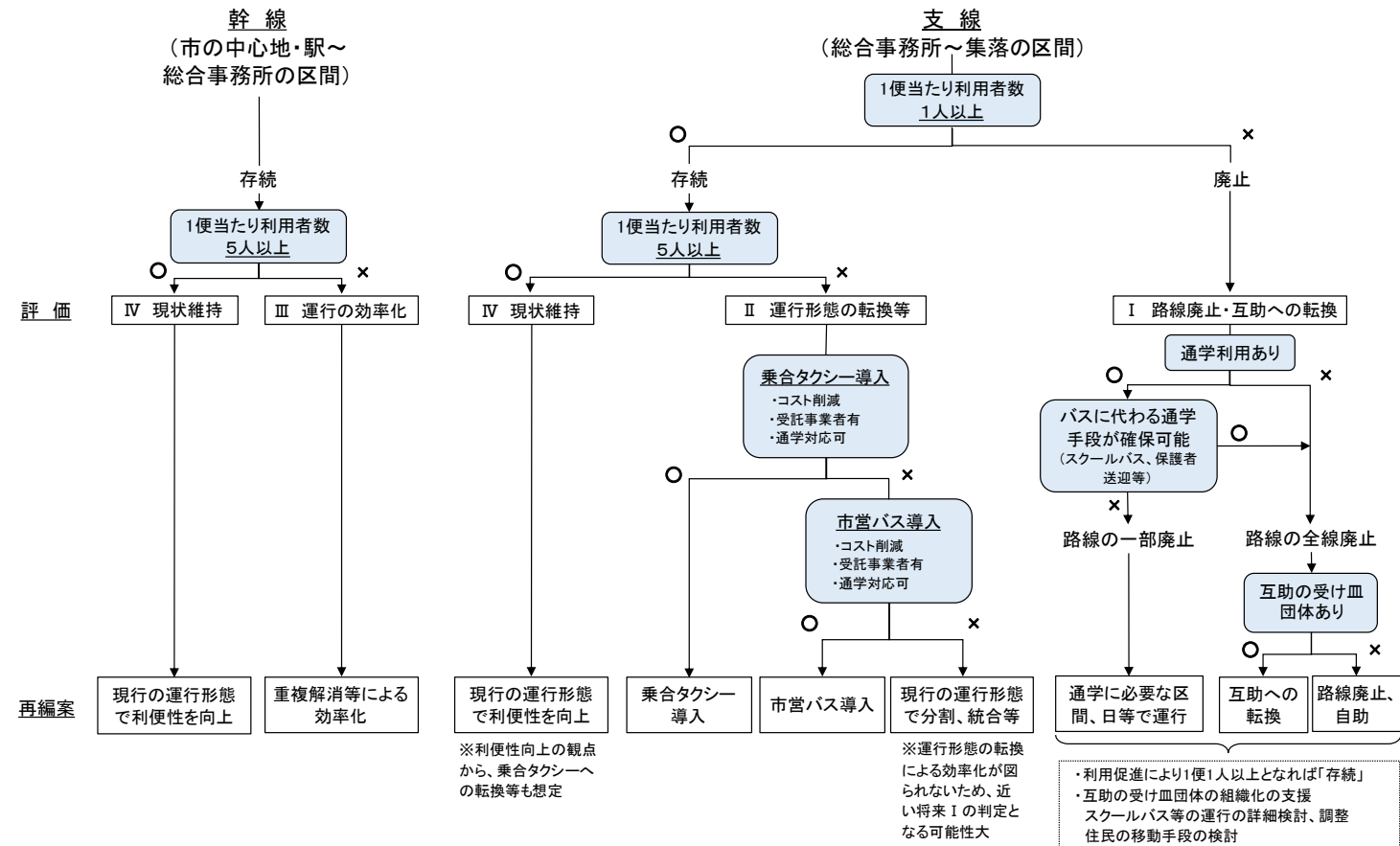


3 計画の基本方針及び目標

- 基本方針1** 公共交通により市民の日常生活の移動手段を確保する。
- 具体的な目標**
- ① バス及び市営バスの利用者数の減少率を人口減少率以内に抑制する。
 - ② 「市民の声アンケート」において、「バスや鉄道などの公共交通の便がよい」と感じる市民の割合及び、「公共交通の利便性向上」に係る市の取組に対する満足度について、平成30年の調査より向上する。
- 基本方針2** 将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークを構築する。
- 具体的な目標** ① 計画終了時におけるバスに対する市の財政負担を4億円以内に抑制する。

4 バス路線の評価と方向性の検討

バス路線について、1便当たりの利用者数（年間利用者数÷年間計画運行回数）を基準に毎年度評価を行う。



※年間の利用者数は事業者（市営バスは市）による実績値とし、年間計画運行回数には、デマンド運行により実際運行しなかった便も含めることとする。

※廃止評価となった路線の猶予期間における改善策として減便を行う場合、年間計画運行回数は、減便前の数値を用いる。

※コロナ禍に伴う利用者の減については、今後、一定期間における回復動向を調べた上で再編に当たる。

5 後期再編計画の策定について

計画に記載した各地域における再編内容は、計画期間のうち、前期4年間において実施することを基本としている。令和5年度で前期4年間が終了するため、令和5年度末までに後期再編計画（令和6～9年度）を策定する。

<策定のスケジュール（予定）>

時期	主な内容
R5年 4月～11月	・地区公共交通懇話会、地域公共交通活性化協議会において審議 ・乗降調査、交通事業者と協議 ・利用者、地域住民から聞き取り、意見交換 (※調査や協議の時期・方法等は地域ごとに異なる。)
12月	・地域公共交通活性化協議会において計画案の承認
R6年 1月	・パブリックコメント
3月	・計画の策定

②安塚区

■人口(令和5年4月末現在)

総人口	1,946人	
15歳未満	85人	4.4%
65歳以上	1,061人	54.5%
75歳以上	639人	32.8%

■地域の送迎サービス(令和4年度時点)

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	安塚小学校区、安塚中学校区	平日
2	福祉有償運送	NPO雪のふるさと安塚	安塚区～上越市内	予約に応じて
3	サロン送迎	NPO雪のふるさと安塚	安塚区内	週3回 (月・水・金)
4	医療機関送迎	浦川原診療所、五十嵐医院、保倉の里診療所	安塚区内～各医療機関	予約に応じて

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算見込み)								評価結果	
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助・市負担(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)		平均乗車密度
1	安塚線	幹線	8,052	1,742	6,310	21.6%	2,726	3,583	12,169 (23,722)	2.5 (5.0)	0.6	III 運行の効率化
2	大平線	支線	6,464	774	5,690	12.0%	0	5,689	5,047 (9,243)	2.0 (3.8)	0.4 0.3	II 運行形態の転換等
3	予約型コミュニティバス	支線	6,539	189	6,350	2.9%	3,000	3,350	991	-	-	-
合計			21,055	2,705	18,350	12.8%	5,726	12,622	18,207 (32,965)	-	-	-

※予約型コミュニティバスは、令和4年10月から令和5年3月までの数値
年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数

■利用の実態(乗降調査)

No.	路線	【参考】1日当たりの運行便数(便)		1日当たりの利用便数(便)		1日当たりの利用人数(人)			利用の特徴	
		平日	土曜日	平日	土曜日	平日	一般	学生		土曜日
1	安塚線	18	8	7	1	31	6	25	1	・朝夕は通学利用が主 ・昼間は利用が少ない
2	大平線	10	0	4	0	25	0	25	0	・朝夕は通学利用が主 ・昼間はほとんど利用なし
3	予約型コミュニティバス	-	0	6	0	8	8	0	0	・午前中の通院・買物利用が主 ・早朝や夜遅い時間帯の利用が少ない

※予約型コミュニティバスは令和5年1月末時点の実績から、その他は令和5年1月調査から ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計

■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	安塚線	幹線	R6年4月	・利用実態に合わせた便数や運行区間の調整を行い、運行の効率化を図る
2	大平線	支線		
3	予約型コミュニティバス	支線	R6年4月	・利用実態に合わせた時間帯ごとの車両台数や運行時間の調整を行い、運行の効率化を図る

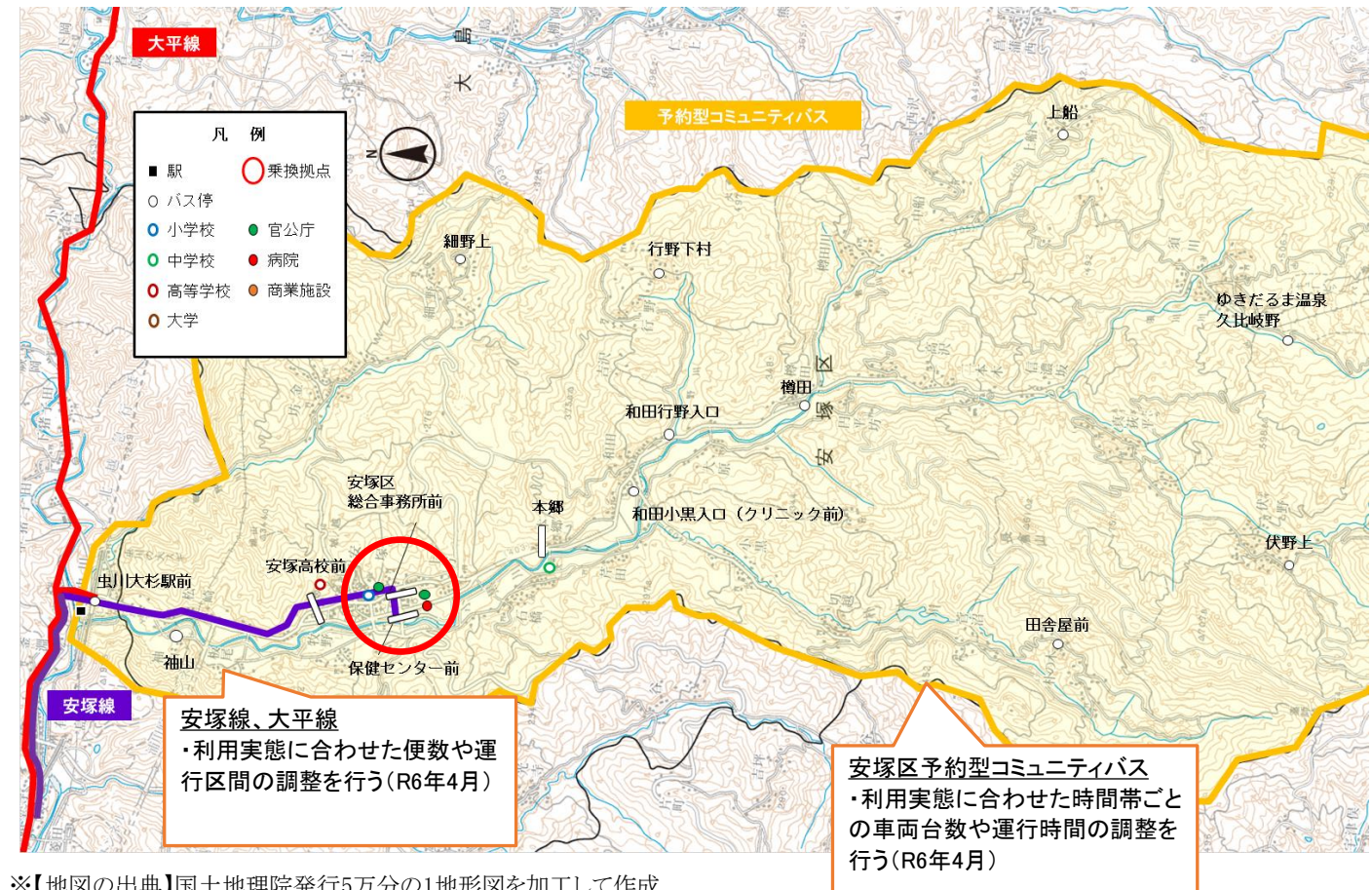
※幹線と支線の乗換拠点は安塚区総合事務所前または虫川大杉駅前など(再編に伴い調整を行う)

【注】本資料は協議中のものであり、確定したものではありません。

■再編前



■再編後



※【地図の出典】国土地理院発行5万分の1地形図を加工して作成

(案)

令和5年7月吉日

各位

新潟県土木部道路建設課

上沼道「上越市安塚～十日町市松代間」の地区説明会の御案内

日頃より、新潟県の道路行政に御協力頂き感謝申し上げます。

現在、新潟県では、上越魚沼地域振興快速道路（上沼道）のうち、「上越市安塚～十日町市松代間」を対象として整備方針の検討を進めています。（別紙参照）

つきましては、整備方針（案）や今後の進め方について、地域にお住まいの皆様を対象に、下記のとおり地区説明会を開催しますので御参加願います。

なお、上沼道の整備の参考とするため、今後、アンケート調査も実施する予定です。

記

1 地区説明会開催日時および会場

事前の申し込みは不要です。いずれの会場でも御参加頂けます。

地区名	日 時	会 場
安塚地区	令和5年●月●日 ●:●～●:●	●●会館（上越市●●）
大島地区	令和5年●月●日 ●:●～●:●	●●会館（上越市●●）
浦川原地区	令和5年●月●日 ●:●～●:●	●●会館（上越市●●）
松代地区	令和5年●月●日 ●:●～●:●	●●会館（十日町市●●）
松之山地区	令和5年●月●日 ●:●～●:●	●●会館（十日町市●●）

2 アンケート調査について

●月の広報紙に合わせて、沿線地区（上越市（安塚、大島、浦川原）、十日町市（松代、松之山））に全戸配布します。

3 問い合わせ先

新潟県土木部道路建設課 高規格道路推進室 阿部

TEL:025-280-5845